

シラバス及び授業案様式

1. 「シラバス」様式

指定科目：「 」 「 」のうちから一つを選択し、サンプルを参考にしながら、各項目に関する指示に従ってA4用紙1枚～2枚に書くこと（指示の範囲内では、各項目の記載方法や字数は自由）

【科目】	選択した科目名を書くこと
【授業概要】	授業概要（200～500字） 「望ましい水準」（箇条書きで、3～7項目）
【授業計画】	15回に分けて、それぞれの授業内容、テーマ等を書くこと（15回目は「正規試験」としてもよい）
【テキスト】	使用予定があればテキスト名を、予定がない場合はレジュメや参考資料の配付予定等について書くこと
【参考書】	当該授業に関連して読ませたい参考書を1～10冊挙げること
【評価方法】	正規試験、平常試験、小テスト、レポート、出席点など、成績評価に関わる項目、および評価比率などをわかりやすく書くこと

2. 「授業案」様式

「シラバス」に記載した科目のうち1回分の授業について、A4用紙1枚～4枚程度の要旨を書くこと。形式は自由だが、「それが何回目の何をテーマないしねらいとした授業か、および、その時間の授業の流れ、講義や演示の内容」がわかるように記載すること。また、授業時に、レジュメ、資料等を配付したりテキストを使用する場合には、そのレジュメ、資料等、およびテキストの該当箇所をコピーして添付すること。

シラバスサンプル1

【科目】	経済学
【授業概要】	<p>授業概要</p> <p>21世紀に入り、一層グローバル化が進んでいる。「経済学」では、このグローバル化とはどのようなものなのか、私たちの暮らしとどのような関係があるのか、地球的な問題を解決するにはどうすればいいのか、などの問いに対して、受講生の皆さんと共に考えながら講義していきたい。その際、現在世界で起きてきている出来事を他人事ではなく、自分の問題として捉えられるように、世界の現状を光の面だけでなく、問題点や矛盾など影の面も含めて講義する。また個々人とどのような関係があるのか、その関係をわかりやすく説明する。</p> <p>さらにビジュアルな教材を利用するとともに、双方向的な学生参加型の授業形態を追求する。</p> <p>望ましい水準</p> <p>国際貿易，国際収支，為替レートなどに関する主要な用語を理解できる。 国際政治経済学を主とした理論の考え方を理解できる。 グローバル化の特徴について一定程度論述することができる。 グローバル化に伴う開発，環境，経済格差という諸課題について通観し，その対策も含め自分なりの見解を述べるができる。 アメリカ，ヨーロッパ，アジアなどのエリアの現状や諸課題について自分なりの見識を持ち論じることができる。</p>
【授業計画】	<p>プロローグ</p> <p>1回 「もしあなたが地球村の村長ならどうする？」 ……『世界がもし100人の村だったら』より</p> <p>経済のグローバル化と国際貿易</p> <p>2回 たべものから見たアジアと日本 ……「エビと日本人」「サラダと日本人」</p> <p>3回 ナイキの世界戦略にみる国際貿易の基本構造</p> <p>4回 急増する国際貿易と国際貿易システムの課題</p> <p>5回 急増する国際貿易と国際貿易システムの課題 【小テスト】</p> <p>グローバル化するマネー</p> <p>6回 「カジノ資本主義」論……続発する通貨金融危機</p> <p>7回 グローバル化と資本移動</p> <p>8回 金融のグローバル化と国際通貨システム 【小テスト】</p> <p>グローバル化と持続可能な開発</p> <p>9回 グローバル化と急激で不均等な経済成長</p> <p>10回 グローバル化における開発と環境</p> <p>11回 持続可能な開発にむけて 【小テスト】</p> <p>12回 グローバル化と地球的問題群 戦争・対立、人権、ジェンダー等</p> <p>13回 グローバル・ガバナンスとローカルガバナンス ……「もしあなたが地球村の村長ならどうする？」再論</p>

	<p>エピローグ</p> <p>14回 Imagine all the people Living life in peace , , , ,</p> <p>試験</p> <p>15回 平常試験</p>
【テキスト】	<p>岩本武和・奥和義・小倉明浩・金早雪・星野郁『グローバル・エコノミー』有斐閣,2001年など</p> <p>基本的には毎回プリントを配布します。</p>
【参考書】	<p>参考文献は詳細シラバスで紹介します。</p>
【評価方法】	<p>【授業概要】で挙げた望ましい水準 ~ について、小テスト、平常試験により総合的に評価します。評価基準は以下のとおりです。</p> <p>A．すべての項目について高い水準である。</p> <p>B．半分の項目が高い水準である。</p> <p>C．すべての項目が水準に達している。</p> <p>D．いくつかの項目で未達成である。</p> <p>F．多くの項目で未達成である。</p>

シラバスサンプル2

【科目】	健康・運動科学実習Ⅰーバドミントン
【授業概要】	<p>この授業は、バドミントンの実技実習を通して、学生の身体リテラシー(学習案内参照)を向上させることを目的としています。</p> <p>バドミントンの理論・技術を修得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの活性化を図り、バドミントンをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。また、バドミントンの運動強度の測定など各種データを収集し、スポーツに対する科学的認識や現代における運動・スポーツのあり方について考える機会を提供します。</p> <p>「望ましい水準」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．バドミントンの用具、ルール、様々なショットについて理解している。 2．練習やゲームに積極的に参加し実力に応じた楽しみ方ができる。 3．運動強度を表す様々な指標について理解している。
【授業計画】	<p>第1回 ガイダンス 種目分け 身体計測</p> <p>第2回 コミュニケーションづくり、ダブルスの試合</p> <p>第3-7回 ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、ドライブなど多彩なショット練習 雨天を利用し健康に関する意識調査</p> <p>第8回 シングルスゲーム1</p> <p>第9回 シングルスゲーム2</p> <p>第10-12回 サーブ、フォーメーション、スマッシュ、ゲームの組み立てなど ゲーム中の運動強度の測定、日常生活時の消費カロリーの測定</p> <p>第13回 講義(健康と運動、日常生活における運動のあり方)</p> <p>第14回 ダブルストーナメント1</p> <p>第15回 ダブルストーナメント2 まとめ</p>
【テキスト】	使用しない
【参考書】	日本バドミントン協会編、バドミントン教本(基礎編)、ベースボールマガジン社、2001、定価 2000 円
【評価方法】	<p>正規試験は行わない。</p> <p>全授業の 4/5 以上の出席を成績評価の必須条件とする。</p> <p>評価は、授業への取り組み態度を 3 割、出席率を 3 割、技術点 2 割、レポートの内容 2 割で評価する。</p> <p>評価の基準</p> <p>「望ましい水準」に達していれば、「C」以上の評価が与えられる。</p>